

カナダ金融政策（2024年12月）

5会合連続の利下げを決定し、今後の利下げペース鈍化を示唆

2024年12月12日

来年前半の利下げ停止が視野に入る

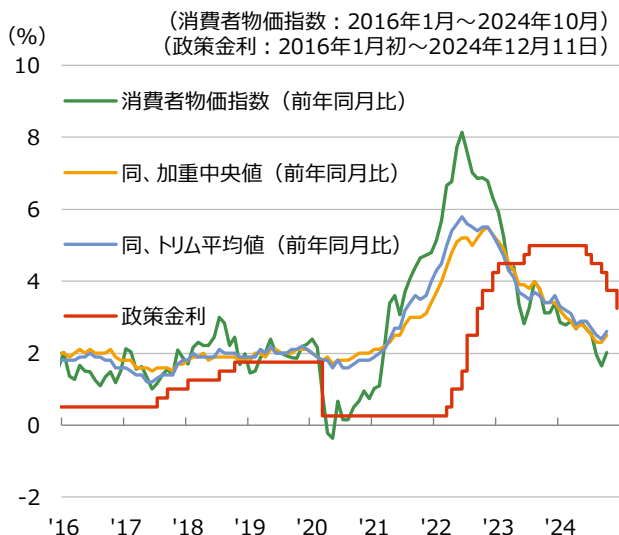
カナダ銀行（中央銀行）は12月11日（現地）に金融政策決定会合を開催し、市場予想通り政策金利を3.75%から3.25%に引き下げることを決定しました。利下げは5会合連続で、政策金利はカナダ銀行が中立金利と推計する2.25～3.25%の上限に達したことになります。

声明文では、インフレ率が2%近傍で推移し、経済が供給超過の状態にあり、最近の経済指標が予想を下回ったこと（例えば、7-9月期の実質GDPはカナダ銀行が10月時点で予想していた前期比年率+1.5%に対して実績値は同+1.0%）を受けて、前回と同じ0.5%ptの利下げを決定したと説明しています。

一方、これまでの利下げが個人消費や住宅市場の回復につながっていると指摘したほか、住宅ローン規制緩和などの経済対策や、移民流入の抑制方針、米国との貿易問題で見通しの不確実性が高まっている点にも言及しています。そうした中、声明文からは前回までの「更なる利下げを想定する」との文言が削除され、「追加利下げの必要性を会合ごとに判断する」との表現に置き換わりました。マクレム総裁も記者会見で「これまでに政策金利を大幅に引き下げたことを踏まえ、経済がおおむね想定通りに推移すれば、金融政策に対するアプローチはより段階的になるだろう」と説明し、利下げペースの鈍化を示唆しました。

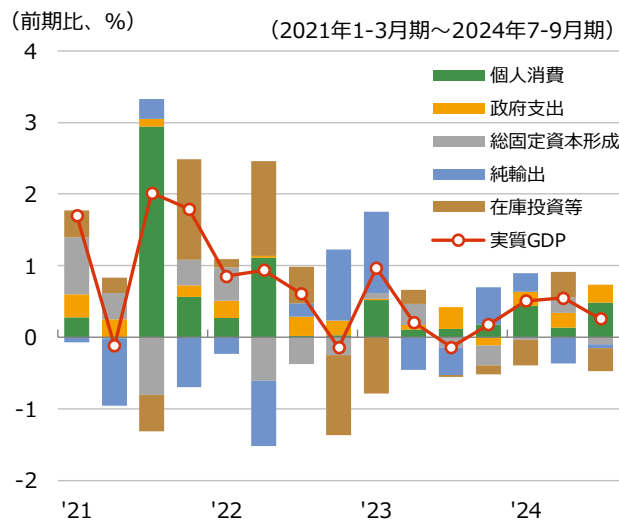
今後の利下げペースや利下げの到達点はデータ次第ですが、経済が想定通りに推移すれば、次回1月の会合では利下げ幅を0.25%ptに縮小し、その後に利下げ停止の検討を本格化するとみられます。

カナダの消費者物価指数と政策金利



(出所) カナダ統計局、ブルームバーグ

カナダの実質GDP



※棒グラフは需要項目別寄与度

(出所) カナダ統計局より大和アセット作成

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management